

逗子ロータリークラブ



since 1962

歓迎の言葉 第 61 代会長 服部城太郎

本日は、逗子ロータリークラブの創立 60 周年記念例会に多くの皆様にご列席頂き、会員を代表し、厚く御礼申し上げます。国際ロータリー第 2780 地区田島透ガバナーをはじめとするロータリアンの皆様、京都より遠路はるばるご出席を頂いた姉妹クラブである京都紫野ロータリークラブの皆様、そして、つね日頃より私共の活動にご理解とご協力を頂いている地域の皆様をご来賓としてお迎えできたことに、逗子ロータリークラブ会員、全員が心より感謝を申し上げます。

逗子ロータリークラブは、横須賀ロータリークラブを親クラブとして、1962 年 3 月 8 日に 24 人のチャーターメンバーにて産声を上げました。それ以来、クラブの先輩方の情熱あふれる奉

仕の精神とたゆまぬ親睦活動に培われた友情により 60 年という長きにわたる歴史を歩んでまいりました。これも、ガバナーはじめ 2780 地区のロータリアンの皆様や、地域の協力団体の皆様、姉妹クラブの皆様のおかげと感謝しております。

60 年といえば、人間なら還暦のお祝いをする年です。「生まれたときと同じ暦に還る（赤ちゃんに還る）」というフレッシュな気持ちで、次の節目に向かって奉仕の精神をもって活動に当たりたいと思います。



ご挨拶 創立 60 周年記念行事実行委員長 村田 典昭

逗子ロータリークラブの 60 周年記念例会を開催出来たのは、逗子会員とその家族の皆様の協力の賜物と感謝いたします。

2780 地区田島ガバナーを始めとして、地区の役員お歴々の皆様そして姉妹クラブ京都紫ロータリークラブの皆様をお迎え出来た事に深甚なる感謝の意を表します。

冒頭の津軽三味線には、ご臨席の皆さまの健康と益々の繁栄、そして 3 年に亘り我々を困らせ続

けたコロナを撃退する為の祈願を込めたものでございます。

今後の逗子ロータリークラブは、四つのテストを基本に 100 周年に向かって奉仕の理想を求め続けて参ります。

ロータリーの友情を持って変わらぬご指導ご鞭撻をお願い致します。



★ 逗子ロータリークラブ 創立 60 周年 記念事業 ★

記念事業委員長：菊池 尚 副委員長：徳永淳二

地区補助金を使った環境教育プログラム 「知ろう、守ろう、逗子の海と生き物」

1. 磯の生き物セミナー (2021年7月17日)

逗子市内小中学生を対象に、えのすいの学芸員を講師に招き、相模湾を中心とした魚類の調査から始まり、海岸動物の生息調査までの広範囲なエコロジーの知見を小中学生に向けて、知る、学ぶ場を提供していただいた。



2. 漁船に乗って、漁業体験 (2021年11月21日)

小学校高学年から中学生を対象に、小坪漁業協同組合の協力を得て、漁船に乗り組み、逗子湾での刺し網、タコ漁などの漁業体験を行った。豊かな青い海と海から見た緑の豊かな自然を実感できる稀有な体験をし、逗子の海で、漁師さんから海を守ることの大事さも学んだ。



3. 新江ノ島水族館のバックヤード見学とプラゴミ拾い (2022年2月23日)

逗子海岸の葛ヶ浜の大潮の干潮時に現れる広大な磯での、えのすい学芸員をインストラクターとして、磯、浅瀬の生き物の採取と観察を学ぶ予定であったが、悪天候のため中止。代わりに、新江ノ島水族館のバックヤードの見学と、プラごみ拾いを行った。



中里児童公園整備 (2022年4月21日)

荒れていた公園を塗装・タイル仕上げで整備・再生。

